

平成 年 月 日

様式 1 (第 7 条)

平成 30 年度 クリエイティブ・インクルージョン活動助成申請書

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

理事長 澄川 喜一

下記のとおり申請いたします。

1 申請者・申請団体概要

応募枠 (○をつける)	テーマ ／ 継続 ／ 自由 新規
申請団体名 (個人の場合は不要)	フリガナ 印
代表者名	フリガナ 印
連絡先	(住所) 〒 (電話番号) (Email)
申請時点での 主な活動拠点	横浜市内 ( ) ／ 横浜市外 ( )

2 企画書・過去の実績

- (1) 自由書式、別途添付 (分量として A4 4 枚分以内)
- (2) 過去の実績、別途添付 (印刷物、報告書、DVD 等)

3 希望助成額 (最大 200 万円 初申請は制限なし、継続申請は総予算 2 分の 1 以内)

_____円
--------

## 4 予算書

### (1) 収入

費目	金額	詳細
ACY 助成金		
(例) 負担金		
(例) 入場料		
(例) 物販収入		
(例) 他の助成		
(例) 協賛金		
合計	円	

### (2) 支出

費目	金額	詳細
(例) 出演料・企画料		
(例) 制作費		
(例) 会場使用費		
(例) 印刷費		
(例) 著作権料		
(例) 当日運営費		
(例) 郵送費		
(例) 保険料		
その他項目(以下に 具体的に記入)		
合計	円	

収支差額	円
------	---

#### (記入の際の注意事項)

- ・他の助成金は、申請段階でも（申請中）として記入してください。
- ・記載の際に、費目の例示は削除してください。
- ・詳細は、できるだけ具体的に記入してください。

## 5 スケジュール

## 6 チーム体制（本プロジェクトを実施するチーム体制を記してください。）

本制度は、芸術家とその制作スタッフだけで行うプログラムを想定しておりません。例えば、インクルージョンに関するリサーチャーやサポートをするメンバーや応援してくれる地域の団体や人物等を記載してください。また、芸術系ではない団体や企業からの申請の場合は、芸術分野のパートナーについて必ず記載してください。

役割	名前・団体	主な業務（これまでの経験）
(例) ディレクター		
(例) 出演者		
(例) デザイナー		
(例) 賛同企業		
(例) 横浜市〇〇局		
広報		
事務局 問合せ窓口 総務・経理		

\* 例示は消去し、記入すること。

7 活動を社会に広げる工夫、多様な参加者を募る工夫、社会の共感を高める具体的な取り組み

8 本活動の何が先駆的と考えていますか。

9 今後の計画（特に事業の発展と共に、それをどのように社会に広げていくか。また助成率、助成額が減った際に、どのように持続可能にしていくかを記載してください）

（1年目／申請の年）

（2年目）

（3年目）

10 以下を誓約して、署名してください。

（1）本申請書の内容は、別紙「クリエイティブ・インクルージョン活動助成交付要綱」第6条（助成対象にならないもの）に該当しない。

（2）本申請書に虚偽事項を含まない。

署名欄：\_\_\_\_\_

11 本助成制度の申し込みは、最初に何で知って申し込みましたか？（以下のひとつに○）

（1）チラシ

（2）アーツコミッショナ・ヨコハマ、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団のホームページ

（3）横浜市文化観光局のホームページ

（4）創造都市横浜のSNS（Facebook, twitter）

（5）口コミ（個人のSNS含む）

（6）その他のウェブメディア

（7）その他（